

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 589

事務事業名	競艇事業
-------	------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	大村市競艇企業局		
課名	経営管理課		
課長名	早川 泰彦	内線	220
担当者名	今井 大五郎	内線	222

基本目標	060201	持続可能な行財政運営と市民協働の推進
政策		健全な財政運営の推進
施策		健全な財政運営の推進
関連施策		

会計	大村市モーターボート競走事業会計		
款	1	モーターボート競走事業費用、資本的支出	
項			
目			
事業コード			

事業類型	4	ソフト事業(任意)
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者)	ボートレースファンを対象		
意図	本事業は、モーターボート競走法に規定されているとおり、公益の増進を目的とする事業の振興に資するとともに、本市の社会福祉の増進、医療の普及、教育文化の発展、体育の振興その他市民の福祉の増進を図るための施策を行うための財源を確保する。		
事業概要	本事業は、モーターボート競走を施行することで、本市の健全財政の確保に寄与するものである。戦後の混迷期による本市財政の危機的状況を打開するための方策として昭和27年に「全国初のモーターボートレース」を開催し、これまで総額592億円の繰出を一般会計におこなっている。今後も、モーターボート競走の施行を通じて、継続的に収益を確保し、一般会計への繰出を行う。		
事業期間	昭和 27 年度 ~ 平成 年度	実施方法	直営
根拠法令、要綱等	モーターボート競走法、地方公営企業法、地方財政法、大村市モーターボート競走事業の設置に関する条例		
国・県補助事業に係る本市単独施策	無		

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標	① 年間発売日数(自場開催)	計画値	186	192	204	198	
		実績値	186	191	204		
	自場開催日数	達成度	100.0%	99.5%	100.0%		
		計画値	301	338	366	350	
成果指標	② 特別発売日数(他場開催)	実績値	296	326	351		
		達成度	98.3%	96.4%	95.9%		
	本場(外向、前売含む)における場外発売日数	計画値	206,942	182,457	238,018	224,278	
		実績値	204,564.0	205,049.0	244,569.0		
① 1日平均売上(自場開催分売上)	達成度	98.9%	112.4%	102.8%			
	② 総売上額/開催日数	計画値	-1,137	245	700	733	
		実績値	-854	700	1,138		
	単年度利益の額	達成度	75.1%	285.7%	162.6%		

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	59,640,982	62,428,282	70,303,952	70,044,358	73,727,693	80,000,000	80,000,000	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債	1,500,000	2,800,000			800,000			
その他								
一般財源	58,140,982	59,628,282	70,303,952	70,044,358	72,927,693	80,000,000	80,000,000	
② 人件費(千円)	651,716	644,885	647,368	685,432	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	30.00	31.00	30.00	31.00	全国GIなど			
時間外勤務(時間)	9268	9209	8839	8000				
嘱託等人数(人)	213.00	212.00	226.00	240.00				
フルコスト(①+②千円)	60,292,698	63,073,167	70,951,320	70,729,790				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	(繰越欠損の解消について) 1 当期純利益を11億3,803万円を計上し、繰越欠損を解消した。 (場外発売場の新規開設について) 2 佐々、鹿島に場外発売場を新規開設した。(松浦については平成28年度に開設)(一般会計への繰出再開) 3 当初予定より1年前倒しで一般会計への繰出しを再開した。(平成27年度 3億円の繰出し)
事業が抱える問題・課題等	1 ナイターレース実施にともなう諸問題への取り組み 2 場外発売場の新規開設

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	地方財政の改善を図るためモーターボート競走法に基づき、事業を実施している。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村市が施行者であり、モーターボート競走法に規定されたとおり、総務大臣が指定する市町村のみがモーターボート競走を施行できることから、代替はできない。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	平成27年度には、SGオールスター及びG I 九州地区選手権競走を実施し、過去最高売上498億円(前年度比27.4%)を達成した。またボートレースチケットショップ佐々及びボートレースチケットショップ鹿島を新規開設したことにより、場外発売場は12箇所となった。堅調な売上に支えられ、当期純利益は11億3,803万円を計上し、繰越欠損金を解消した。一般会計繰出金についても当初予定より1年早く再開し、3億円を繰り出した。						
効率的	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	これまで592億円の一般会計繰入を行い、市の財政に寄与してきた。						
コスト	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	ボートレースチケットショップにおける保守体制の見直しを行うなど固定費の抑制に努めた。今後もサービスの質を確保しながら、各種見直しを実施していく。						
負担割合	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	場外発売場の保守体制見直し等により固定費の抑制に努めた。今後も各種交付金等の負担割合見直しについて要望を行っていく。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	拡充	
--------	----	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	競艇事業が将来にわたり安定した利益を確保し、市財政に寄与するため、効率的な運用を行うと同時に、新たな場外発売場設置や電話投票等の売上拡大を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	継続的に利益を確保し、一般会計へ繰り出しを行うことで、市財政に寄与する。

1次評価	今後の方向性	拡充		2次評価	対象外	今後の方向性	
	終期設定				終期設定		
	意見等	経営は順調に推移しているが、更なる経営基盤の強化を図るため、ナイターレースの早期実施に取り組む。			内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。